

蔵増北青壮年会だより
発行 第48号
平成19年12月20日



そうねん

発行人会長 秋保 栄
編集委員長 後藤 賢次
編集 機関紙編集委員会



平成19年11月3日(文化の日) 特異晴れ

もみじ映える 神通峡

《はじめての
ファミリーウォーキング》

大朝日岳の山すそ
古寺溪谷 神通峡
しびき舞い
岩肌滑る 無数の滝
それは命の水 命の源
ブナ、ナラ、カエデ
まばゆいスクリーンに
季節を彩る

北青壮年会で はじめての
ファミリーウォーキング
秘境の大気を
身体いっぱいに取り込んで
神聖な 水と空気と
大樹の鼓動を 感じ取る

また来年も：
どこかで、聞こえた
誰かの声

小春日和の古寺溪谷を散歩 一歩足を踏み出せば、秘境の大自然

はじめのファミリー

ウォーキング

表紙をご覧になっていただきた。古寺溪谷の中洲で大自然を満喫している笑顔たちです。

〈創ろう〉

みんなが集う青壮年会
昨年度に会員アンケート調査を実施した時のキャッ



友人や夫婦連れで、ゆったりした時間を楽しむ

チコピーです。

目指したものは、部活動に関わらず、一般の事業に誰でも気軽に参加できる環境づくりでした。

これまで、家族参加の事業としては、ファミリーポウリング大会があり、平成四年から平成十八年まで15年間継続。40名の参加をピークに、昨年は14名に

「新たな企画が必要。誰でも気軽に、健康づくりも兼ね、ゆとりがあつて、負担の少ない、ウォーキングなんかどうだろうか。」という提案があり、総会で決定したところでした。

早速、今年、秋の紅葉シーズンに焦点をあて



仲むつまじく、手作り弁当のおいしさは格別

深まる秋を惜しむ

企画にあたり、野山を歩こう会副会長の佐藤春彦さ

大江町古寺溪谷「神通峡」を散策しました。十一月三日(土)
「文化の日、特異晴れ」さすがに、期待通り、見事な小春日和でした。

んから全面協力をいいただき、紅葉にぴったりの季節に、平坦で無理のない道を選んでもらいました。

この神通峡4・2kmの内、今回は中間の不動明王までの2・2kmを折り返しました。少し足を踏み入れただけで、こんな大自然とふれあえるなんて、山形つて本当に素晴らしいところだなんて、あらためて感じました。

子育てから開放されたカップルや、親しい友人同士の参加もあり、お昼時には手作り弁当を味わい、柔らかい日差しの中、深まる秋を惜しむひと時でした。

なだらかで、落ち葉のクッションの効いた道は、もつと先まで歩きたいという気持ちを湧き立たせ、ちよ



陽だまりの中、いい雰囲気ですねえ

つと物足りなさそうな人もいました。まあ、はじめにしては丁度かな、と思っっています。帰りは、大井沢の「ゆつたり館」で湯船につかり、身体を温めました。

子育て中の皆さん
お待ちしております

この事業は「誰でも気軽に」が趣旨の企画です。来年は今年以上に、若い世代の会員や子ども連れの参加を期待しています。お互い交流を深める良い機会です是非、積極的な参加をお願いします。

(編集委員長 後藤賢次)



ヒラメと鯛に挑戦

北三区 久保田 豊
(昭和47年生まれ)

私が来年やりたい事は、魚が好きなので、釣りの幅を広げたいと思っています。今年も何度か釣りに行きましたが、サバとカレイがメインで、カレイは唐揚げにして、サバは、しめサバにして食べました。このしめサバがとてもおいしく、毎日食べても、飽きのこない味でした。来年は、サバ、カレイはもちろん、ヒラメと鯛に挑戦したいと思えます。

を1時間かけて釣り上げたというのを聞いて、何とか都合をつけて行きたいと思っています。



ヒラメは今年も行きましたが、ボウズだったので、来年こそは、何としても一匹釣り上げたいです。鯛は、仕事での知り合いが、先日92センチメートルの好物

じわんばれ年男

四十にして惑わず
五十にして天命を知る

北一区 土屋政美
(昭和35生まれ)

四度目の年男、もう一巡で還暦か。なんと時の過ぎ去るのが早いことか。年は人並みにとつても、年に見合うだけの成長が自覚できてない。あの孔子はおっしやった。「四十にして惑わず、五十にして天命を知る。」

しかし
私自
身は、

毎日、
毎日感いつ
天命など露知らず。これでもいいのかと自問の毎日。



心のゆとりを持つて

北三区 今田仁志
(昭和35年生まれ)

これまで、仕事、子どもの行事参加など、とても忙しく過ごしてきましたが、振り返ってみると、四回目の年男を迎える年となりました。もう一回りするとは、早いです。仕事生活、家庭生活の両立の中で、やらなければなら

そうは言ったものの、世間から見れば立派な中年、腹の膨らみも気になり出し、俺もメタボかなと思うこの頃、健康管理に注意し、家族田満、何事にも食欲で、一生続けられる趣味でも見つけたいと考えている昨今である。

新しい年もきつと、忙しい年になると思いますが、心にゆとりを持って、行動していきたいと思えます。

還暦・青壮年会挙げて
お祝い申し上げます。
(昭和23年生まれ)

何よの健康第一
北三区 佐藤 博雄



ゆつくと
旅行にでも出かけたい
北三区 佐藤 武志



【昭和23年(1948年)】元日・成人の日・春分の日・憲法記念日・子どもの日公布 サマータイム実施(4年で廃止) 東京ブギウギ 異国の丘 美空ひばり前座でデビュー
【昭和35年(1960年)】現皇太子浩宮様誕生 チリ地震大津波で119人死亡 日米安保条約調印 タッコちゃんブーム 家つきカーつきババア抜き スンドコ節(小林旭)
【昭和47年(1972年)】浅間山荘事件 田中角栄「日本列島改造論」 パンダ「カンカン・ランラン」来日 札幌オリンピック70m級ジャンプメダル独占 旅の宿(吉田拓郎)
【平成19年(2007年)】猛暑40.9℃、山形の40.8℃を74年振り更新 宙に浮いた年金 安倍プッツン 食品偽装 品格 どげんかせんといかん そんなの関係ねえ!



隆さんからみっちり指導を受け、太鼓デビューの義盛さん。



ぎこちない誰かさんに比べ、子ども達は本当に上手。

顔いっぱい あの 場面

みんなでビアパーティー (8月4日)
北区夏まつり・盆踊り大会 (8月5日)
地区レクリエーション大会 (8月26日)
分館対抗駅伝大会 (11月4日)



さあ、いらっしや〜い 賑わいは夜まで続く。売店係



今年も大好評「みんなでビアパーティー」



見て!お客さん達の喜び顔。「大石景子歌謡ショー」



安尚君のお姉ちゃん千穂さんも走る、走る



安尚君から瑞希さんへ、<んぐん加速



見事なスタートダッシュ!
集中力がすごい 日南子ちゃん

榎は一区瑞希さんから、安尚君（市陸協強化選手）へ



長丁場を担う榎さん。力強い走りは、凄いの一言。



全力を尽くし榎をつなぐ。秀弘さんも、皆の思いを継ぎ力走！



チームワークは日ごろの飲み会でバッチシ。青壮年会選手団。

いきいき 笑 あの 感動



縦断駅伝選手が走る分館に迫り、見事準優勝。



息もぴったり！北区のいなほっ子。



キッツ〜イ！あの頃に戻りた〜い。



14人がつないだ優勝杯。北区には親子や兄弟、俊足の伝統が脈々と…。



郁子さんにバトンが渡ったらもう安心



日南子ちゃんが速いから、お母さん（あかね）も速い？ん〜ん、逆だな。



南町青壮年会に競り勝つ。雪辱を果し見事三位入賞

第33回市連合青壮年会ソフトボール大会が七月八日、老野森グラウンドで19チームが参加し開催された。蔵増北チームは、1回戦寄的壮年会と対戦。出足良く快音が続き11対2。早々と3回コールド勝ち。
2回戦の相手は南町青壮年会。忘れもしない昨年逆転負けをした因縁の相手。何としても勝ちたいと言う

優勝まであと一押し 市連合ソフトボール大会三位

思いが全員にあった。取られたら取り返す。粘りに粘って9対7で試合終了。勝負にこだわり、雪辱を果たした貴重な一勝だった。
いよいよ準決勝。相手は強豪千布青壮年会、全員ユニフォーム姿。出で立ちの差、試合に影響しないと良いが。2回までは0対0。3回裏に3点取られ、そのまま最終回を終え0対3で涙をのむ。でも、終わって見れば第三位。試合終了は十二時頃。3試合連続で休み時間無し。選手の皆さん大変お疲れ様でした。
凱旋後の北公民館での反省会、恒例の「焼肉とビール」で体力と気力の回復を図り、来年こそは優勝をと全員誓い合い、大変盛り上がった一日でした。
(ソフト部長 鈴木光若)

今年のフオート・トレッキングは福島県の「安達太良山」と「一切経山」へ。
智恵子は東京に空が無いといふ。
ほんとの空が見たいといふ。私は驚いて空を見る……。
智恵子は東京に空が無いといふ。
ほんとの空が見たいといふ。私は驚いて空を見る……。
今年のフオート・トレッキングは福島県の「安達太良山」と「一切経山」へ。

安達太良 道中記

7月21日～22日

◆◆写真部フォト・トレッキング◆◆



智恵子が愛した安達太良の空を探して…

本当の空を見に行つたのだが、あいにく霧・霧・霧。合羽を着て山頂を目指す。ずるしてゴンドラで登り、良く整備された木道を歩く。山頂も霧。三角点があるはずだが霧で見えない。チョット上にまだ高いところがあるのではないか。はしごを登るといかにも山頂!。という石碑が立っていた。こ

こが山頂か!
帰りはくろがね小屋経由で急な岩場を下り、その後、車道を歩く。一番疲れるパターンだ。
宿にいたらお決まりパターン。一回目の反省会。
翌日は、小雨の中一路浄土平を目指す。浄土平は時々霧が出るものの晴れて良い天気。そこから一切経山に登る。最初の登りはきつかった。途中で3人が登頂を断念し下山。昨夜、彼らは本気で反省会をしたようだ。
山頂から見る五色沼はきれいだつた。当然我々も、山頂でビールを飲んだのは言う迄もない。蔵増へ帰ってから本当の反省会をやった。
(写真部 十屋久雄)

湯野浜で一局

◆◆将棋部一泊練成会◆◆



神通峡、将棋、麻雀 1日で3度の楽しみ

十一月三日、将棋クラブ御一行様6名は、大江町神通峡を目指した。あれれ、湯野浜へ行くのでは??
日程調整不調により、青壮年会初企画のファミリウオーキングと同日程になり、半日、深まりゆく秋を堪能。
大井沢「湯つたり館」でお風呂組と別れ、わが一行は一路湯野浜へ。宿到着後、早々ビールで乾杯。将棋もトーナメント戦を開始。するとするとオプザーバーのW氏の優勝。部員の面目丸つぶれ。疲れた頭脳を休めにいざ夕食へ。骨付き



△ 悪路極まる黒鴨林道をクリアし、頭殿山頂へ

雨あり・悪路あり

◆◆野山会登山紀行◆◆

蔵王山
七月二十九日、曇り時々雨、5名参加。上ノ台グレンデ(850m)・ドッコ沼・鳥兜山・ザンゲ坂・地藏尊(1660m)を往復。

マグロまでご馳走になり、日本海の海の幸を完食。大変美味しく頂きました。かけ流し温泉で頭と体をリフレッシュさせ、将棋で

登山口までの林道は長く狭く急坂。草木が道に覆い被さり、岩盤の現れた路面は雨でえぐられ凹凸。車とドライバードリカセの超悪路。車を降りてから山頂までは1時間半程度。朝日岳を間近に望むことができた。下山後、パレス松風で汗を流す。この林道はもうコリゴリです。(野山会 佐藤善彦)

九月三十日曇り、6名参加。登山口(800m)・山頂(1203m)往復。

白鷹町 頭殿山

夏のグレンデを登ると意外に急である。約3時間で地藏尊前に至る。ガスと雨で視界不良、昼食を食べべ早々に下山。下りは約2時間。下山後は、蔵王温泉大露天風呂で汗を流した。

勝てないなら今度は麻雀、夜の更けるのも忘れ……。来年はどこへ？ みなさんも是非、一緒に！
(将棋部長 十塚政美)

《麻雀部》月例会を再開

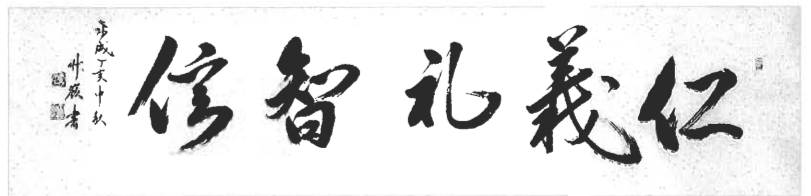
「毎月第3土曜日の月例会実施」が今年の麻雀部の大きな目標です。参加率を高めるためにはお互い誘い合うことが必要と思い、顔を合わせた際の話題にしたり、電話での呼びかけを実践しております。5月から例会を再開し、毎月何とか実施している状況ですが、欲を言えば8人以上の参加で2卓できるのが最高なんです…。これから期待しましょう。

北区新春麻雀大会は1月20日(日)。

地域の皆さん大歓迎のオープン大会です。お誘い合わせの上、大勢の方に参加していただき、楽しい一日を過ごしていただきたいと思ひます。(麻雀部長 熊澤常也)

わたしの作品

秋保竹嶺(栄)書



「仁義礼智信」
仁は人を慈しむ心。
義は利欲を捨て、筋道をたてる心。
礼は礼節を重んじ、人を敬う心。
智は是非の心。
信は自分を信じ、人を信じ、約束を守る心。
古代中国儒家教家孔子、孟子の教えである。
平成二十一年大河ドラマ「天地人」で全編をとおして貫きと通される武士道精神でもある。
戦国時代、越後の長尾景虎、後の上杉謙信は、「大將の根底とするところは仁義

礼智信を規範とし、慈愛をもって衆人を隣れみ」と説き、目先の利欲よりも、もつと大きな義というものを、終生にわたって見つめつづけた武將である。
その意思を受け継ぐ「天地人」の主人公直江兼統は、局面でも義を重んじ筋道を通した。そして兜に「愛」の前立てをし、領民に対する思いやりの精神で上杉家の藩政にあたった。
今年の地区文化祭への作品出品にあたり、高尚潔白な五常の徳目であるが、一つでもという思いを込め臨書してみた。岩月竹陽先生、御手本ありがとうございませした。(秋保竹嶺記)

☆第37回詰め将棋 将棋部があなたに挑戦

持ち駒 金銀

7	6	5	4	3	2	1
					料	皇飛
					王	銀
				角	料	王

ヒント
初手3二角成は詰みません
そこで...
五分で五級。五手詰め。

近所のニュース

《北分館・個人部門演芸大賞受賞》

10月27日に開催された第36回蔵増文化祭のフィナーレ、分館対抗演芸大会で、山崎キエさんが「米の庄内」、佐藤サチエさんほか10名が「おしん音頭」を披露し、個人踊りの部門で見事演芸大賞に輝いた。華やかな演技、まともは素晴らしいものでした。おめでとうございます。



《森山美典さん玉こんキングに》

10月7日、編集委員の森山氏が川西町ダリア園で開かれた「全国玉こん刺し選手権」で9本の日本新記録を樹立。キングの称号が授与された。テレビや新聞等で知ったほかの委員は「何でほだな遠つがい所へ、しかも玉こんキングとは・・・」冷かしの声も、「賞品は米沢牛700g」と聞くやら、「食ったのがあ？、もうないのがあ・・・」空いた口が塞がらない。編集委員会での一コマでした。(後藤賢次)

おはよう この人

北3区

山崎 稔 さん



稔さん
(自称「宴会部長」)は、昭和三十年、川西町小松(川西ダリア園の近く)で、農家の四男として生まれ育ちました。その後、山形市の「カネフジ」に就職し、昭和六十二年、職場の先輩

の紹介で恵美子さんと出会い結婚。カネフジに勤務中「紅花クイーンズ」というソフトボール部に在籍しピッチャーとして活躍。当時、我が北壮年会ソフトボール部の対戦経験もあり、強い印象が残っているそうです。蔵増に來たのは三十二歳の時で壮年会にすぐ入会、一区の森谷定雄さん達からカサ(笠・傘)踊りを教えていただき、地区のレクリエーション大会などで披露

したことが良い思い出となっているそうです。これまでにソフト部長、麻雀部長を務め、現在は三区の理事。役員会ではアイデアに富み、前向きで積極的な提案をしてくれます。自ら宴会部長と称するだけあって、仲間が集まりわいわい賑やかに盛り上がることを何よりの喜びとしているようです。

現在、家族は五人で、仕事は寒河江市の建設業の会社に勤めています。蔵増に住んでの感想は、「青壮年会活動をとおして地域に溶け込めたのがとても良かった。」と話しております。(聞き手 土屋博明)

これから行事

- ◎ 1月20日(日) 北区新春麻雀大会(北公民館)
- ◎ 1月27日(日) 地区青壮年会レクリエーション大会
- ◎ 2月3日(日) 地区冬季レクリエーション大会
- ◎ 2月11日(月) 祝日
- ◎ 北区新春将棋大会
- ◎ 2月24日(日) 北青壮年会平成19年度総会
- ◎ 3月2日(日) 市連合ボウリング大会
- ◎ 市連合将棋大会

あとがき

▽今年から公民館主事をしています。大きな事業が3つ終わりました。①北区夏祭り ②蔵増地区レクリエーション大会 ③蔵増地区演芸大会と駅伝大会です。皆様の協力で、優秀な成績を残すことができました。

- ☆第35回詰め将棋の回答
- ▲ 1 三金 △ 同 桂
- ▲ 3 二角成 △ 1 二玉
- ▲ 2 一銀 まで五手詰め

レクリエーションの目玉競技である混合リレーで優勝。演芸大会では、個人の部(踊り)で演芸大賞を受賞(二年連続)。また、駅伝大会では、準優勝です。北区の皆様へ感謝。(編集兼任委員 森山美典)

▽季節の変わり目には、たんすの中身も衣替え。冬物をチェックして、今年も用意万端整う。

寒くなると布団の中が恋しくて、起きる前の五分、十分がとでも幸福な気分になり、あと五分、あと五分と思いがながら慌てて身支度する毎日。

そして、一番早く起きた者が、部屋の暖房器具のスイッチを入れる。皆さんのお宅では、誰が一番早く起きるのでしようか。(三区委員 土屋博明)

がんばれ モンテ



編集委員

委員長：後藤賢次 ・ 常任委員：森山美典、今田仁志、東海林隆 ・ 区選出委員：1区 土屋政美、2区 土屋忠幸、3区 土屋博明
部選出委員：77外部 鈴木光芳、将棋部 土屋政美、麻雀部 熊澤常也、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄、野山を歩こう会 佐藤春彦

表紙題字 書道部長 佐藤俊彦 (後彦) 書